

# 豊洲小初創立150周年記念誌発行

九州青陵会前会長の溝手博義さん(8期)、近畿青陵会副会長の小原康正さん(33期)らの母校・豊洲小学校(西田)の創立150周年記念誌が令和5年4月に発行されました。

同校初の記念誌です。

元山陽新聞記者で同校OBの佐藤豊行さん(18期)＝本紙編集主幹＝らが、5年前の平成30年に学校や地区の代表者らで刊行委員会を結成して取材・編集を進めてきました。

## OB佐藤豊行さん(18期)ら5年がかり

学校側から提供された明治～大正時代の卒業写真、昭和後期から令和までの卒業アルバムをベースに、学区内外の卒業生や学校関係者らから情報・資料・写真提供を受けました。直接取材のでき

る昭和前期生まれ以降の人には学校時代の思い出十その後の人生を具体的に語ってもらいました。皆さんが気持ちよく協力してくれて3年間の取材の結果、厚さ2冊、260ページ、オールカラーという大作が出来上がりました。体裁やページ数は小学校の記念誌としてはかなり豪華です。

本編の内容は大正から令和までを学年別に1～2ページずつ、卒業写真やインタビュー記事、新聞記事などで組み立てました。現在の学校の現状、さらに明治以来の校舎の変遷、奇贈品一覽、遊びの変化、中学進学先変転などを、多彩な角度からページづくりを行いました。面白いエピソードを織り交ぜ、第三者が読

が大変難しい時代になりました。わが校にとっては最初で最後の記念誌でしょう。卒業生や地域の絆、現役児童たちの生き方のヒントなど、紙の記念誌として有効活用されることを願っています」と話しています。

青陵関係の取材・編集・広告協力者は次の通り。(名字の次のカッコ内は旧姓、敬称略)



出来上がった豊洲小学校創立150周年記念誌

## 明治～令和 260ページ、オールカラー

んでも興味をもってもらえる工夫をしました。

卒業生名簿掲載NG、補助金申請3連敗、クラウドファンディング不戦敗、記念式典実行委員会との連携失敗など多くの難題をクリアしながら達成しました。

刊行委員会会長兼編集主幹の佐藤豊行さんは「記念誌づくり

- 日笠(小川) 子糸(倉女)38期、小原(吉田) 孚美(倉女)40期、小原啓司(転校)6期相当、溝手博義(8期)、藤原(安原)久美子(10期、前田(溝手)初美(10期、高橋義雄(12期)、大橋嘉嗣(14期)、田邊圭次(16期)、古米完二(18期)、草野泰秀(20期)、大森真澄(22期)、宮寺正明(23期)、小銭和明(23期)、大森正一(26期)、舟越正明(26期)、近藤康弘(27期)、渡辺慎二(28期)、小原康正(33期)、永瀬幹夫(33期)、木村知子(40期)、坂本(山田)美香子(42期)、江口太郎(43期)、原田(小原) 眸(54期、舟越俊司(56期)、永瀬喬之(61期)

## 福島隆壽先生(髯)から 洋画プレゼント

豊洲小学校創立150周年記念誌に、青陵高校元在職教員の福島隆壽先生(美術)が、祝賀記念のパステル画「豊洲校に架かる虹」を寄贈してくれました。

津山市出身の福島先生は岡山はもちろん、日展審査員を務める全国区の洋画家です。同学区の中帯江に50年間居住され、小高い丘の上の自宅から同校が一望できます。

記念誌を編集集中の令和2年8月11日、

雨

上がりの夕方、同校の

校舎の後ろに突然虹が現れました。しかもダブルレインボーです。先生が「よし、これだ！」と

福島隆壽先生が寄贈してくれた祝賀記念のパステル画「豊洲校に架かる虹」＝同校記念誌より



素早く絵筆を握りました。

偶然の奇跡に鋭く反応した先生の絵は、まるで創立150周年を祝い、将来益々の発展を予告するかのような唯一無二の幸運なアングルの絵になりました。

記念誌の口絵に掲載して、御礼に代

えさせてもらいました。貴重なプレゼントをありがとうございました。(同校記念誌刊行委員会)

## 豊洲校に架かる奇跡のダブル虹描く

記念誌の口絵に掲載

母校へガーナのプロ選手 森下仁道さん(66期)

アフリカのガーナで日本人初のプロサッカー選手として活躍している森下仁道(じんどう)さん(66期)のユニホームが、令和4年秋から青陵高校本館1階小会議室前の廊下に飾られています。

ガーナ出発のころ、当時のサッカー部顧問を通じて贈った所属チームのユニホームです。大きなケースにユニホームの背側の背番号と森下さんの経歴を収めています。



青陵高校に飾られている森下仁道さんのガーナのユニホーム

青陵高校に飾られている森下仁道さんのガーナのユニホーム

ユニホームは濃いグリーンと黄色の派手な模様で、背中には白い文字で「JINDO 35」と入っています。

在学中、ザンビアでプロデビュー。卒業後、ガーナのプロチームに所属。夢は2025年クラブW杯のアフリカ代表(要旨)とあります。サッカー部顧問・木村哲也先生は「もちろんサッカー部員の刺激になっていますが、彼の豊富な留学経験から留学相談をする現役生もいますよ」とのことでした。森下さんは大学卒業時に文部科学省の「トビタテ!留学JAPAN」の最優秀賞と特別賞をダブル受賞しています。

ノーベル生理学・医学賞候補森和俊京都大学大学院教授(28期)が、令和5年9月、慶応医学賞を受賞しました。森教授は異常なタンパク質が蓄積したことを検知するセンサー役の遺伝子を見い出しました。さらに異常なタンパク質が修復、分解される仕組み「小胞体ストレス応答」と呼ばれるメカニズムを突き止めました。細胞の品質管理の基礎的な仕組みとして知られています。

森和俊京大教授(28期)に慶応医学賞

この発見により平成26年、アメリカの権威ある医学賞「ラスカー賞」を受賞、一躍ノーベル賞候補となりました。候補となつて9年になります。慶応医学賞受賞者53人のうち、これまで9人がノーベル生理学・医学賞、化学賞に輝いています。森教授は毎年のように学術系の受賞歴があり、これで14件目です。

□:本稿は令和5年9月15日付山陽新聞を参考にしました。

15面からつづく

令和5年9月2日付山陽新聞(岡本智志さんは28期)

第6回倉敷青陵・倉敷天城・倉敷南高校3校対抗ゴルフコンペ

◇4月30日 倉敷カントリー倶楽部(倉敷市) 昭和52年3月卒業の同級生有志のコンペ。年齢的に仕事や年金、健康、孫のことなどの課題を抱えたメンバーが、ゴルフを通じてお互いに元気をもらっています。これからも「命と時間」を大切に頑張ろう!!(岡本智志)



令和5年1月29日付山陽新聞

4期同窓会 あっぱれ卒寿13人

令和5年8月6日、倉敷アイビースクエアで開きました。本部同窓会総会の当番幹事の年に開く恒例の同窓会です。本部総会に出席した県内組ばかり13人が閉会后、喫茶室に集合しました。車いすの熱心な参加者もいて、数え年で卒寿を迎えた元気な人ばかりでした。5年ぶりに近況報告をして同級生の絆を一層深めました。(編集室)

お世話になったサッカー部に恩返しをーと、同部OBで会社経営田尻卓治さん(23期) = 写真 = が令和5年9月、青陵高校を訪れ、サッカーボール8個を寄贈しました。



同月15日、妻を伴い校長室を訪問、贈呈目録を内田博文校長に手渡しました。贈呈のあいさつで「青陵高校での3年間の生活は、自主独立の精神を培い思春期の不安を解消してくれまし

有力OB 田尻卓治さん(23期)

後輩へ8個

特にサッカー部生活は人生の宝物となりました。母校の益々の発展とサッカー部の活躍を祈念し贈呈させていただきます」と述べました。

内田校長は「お忙しい中、ありがとうございます。早速、後輩の現役部員に伝えます」と、感謝していました。

田尻さんによると、今年古希を迎え会社も取締役会長となり一線を退いたことが贈呈のきっかけとなりました。「ボールの金額? いやあもう些少なんですね。少しや

んちゃんアウトロー的な生徒でしたよ」と笑っていましたが、サッカー部では素晴らしい実績があります。

中学2年時、4歳年上の兄のいた青陵サッカー部と練習試合をして勝ったことから同部と縁ができました。入試の面接の席上で、いきなり「君は田尻君の弟か? 昼からサッカーの練習に来なさい」と言われ、「えっ、スポーツ推薦でもないのに」と、びっくりしたそうです。

サッカー部生活は朝練に始まり日暮練まで練習漬けで、勉強どころではありませんでした。水工や倉工の選手よりも日焼けしていたといいます。その甲斐あって県大会優勝2回、中国大会準優勝1回、3年時主将を務め国体の県チームのメンバーに選出されました。

卒業時、大学5校からスポーツ推薦の誘いがあつたほどです。「身長の面から父が難色を示し、スポーツ推薦はあきらめました」ということです。かなりの有力選手でした。



<p>広告のご協力 ありがとう ございました (本部同窓会事務局)</p>	<p>医科器械・介護用品全般 <b>赤木医科器械株式会社</b> 代表取締役 赤木 伸寛 赤木 照子(4期) 倉敷市五日市63番地-4</p>	<p><b>備前味噌醤油(株)</b> 安達(岡本)綾子(4期) 〒700-0811 岡山市北区番町2-13-26 TEL(086)222-2645</p>
<p><b>水島化学工事株式会社</b> 榎原 久美子(4期) 倉敷市水島海岸通3-10 TEL(086)444-4629</p>	<p>青陵高校の卒業アルバムが優秀賞受賞 全国の写真館の中から日本写真館賞受賞</p> <p>— PHOTO STUDIO — <b>IMAOKA</b> SINCE 1988 IMAOKA</p>	<p><b>天神窯</b> 岡本 篤(13期) 岡本 和敏(44期) 〒710-0043 倉敷市羽島121-4 TEL(086)423-0356</p>
<p>総合エクステリア・住宅リフォーム <b>香川産業株式会社</b> 取締役会長 香川 俊一(13期) 〒710-0833 倉敷市西中新田352 TEL(086)424-1811 FAX(086)426-8534</p>	<p>(資) <b>今岡写真館</b> 今岡道雄(13期) 今岡靖晶(44期) 〒710-0056 倉敷市鶴形1-7-1 TEL086-422-0559</p>	<p>社会福祉法人 三穂の園 住倉グループ 理事長 総務施設長 <b>岡 良夫</b>(14期) 〒713-8111 倉敷市玉島服部字弥高3788-1 TEL:(086)525-2522(本部) 携帯:090-1682-1898</p>
<p>TMI 総合法律事務所大阪オフィス 弁護士 大水 勇(14期) 〒530-0017 大阪市北区角田町8-1 大阪梅田ツインタワーノース36階 TEL(06)6311-0577 FAX(06)6311-3978 E-mail:iohmizu@tmi.gr.jp</p>	<p>広島県知事免許(10)第5652号 <b>株式会社 中央地所</b> 代表取締役会長 金田 相二郎(14期) 〒739-0014 東広島市西条昭和町1-10 ADVANCE21ビル1F ☎082-422-0007 FAX(082)422-4772</p>	<p>みょうじょう 車検 自動車販売 整備 修理 钣金塗装 自動車保険 お客様の事をおまかせください</p> <p>(株) <b>明星</b> 代表取締役会長 岡 良夫(14期) 本社 〒710-0847 倉敷市東高井1025-1 TEL(086)426-0023 FAX(086)426-0073 携帯090-1682-1898</p>
<p>医療法人創和会 <b>しげい病院</b> 創和会理事長 重井 文博(24期) しげい病院院長 倉敷市幸町2-30 ☎086-422-3655</p>	<p><b>やまだ内科クリニック</b> 山田 斉(24期) TEL 086-466-6880</p>	<p><b>ふじの小児科医院</b> 藤野 光喜(24期) 医院 086-422-2630 自宅 086-424-8645</p>
<p>上下水道指定工事店 <b>株式会社 オオウチ</b> 代表取締役 大内 直樹(24期) 〒710-0806 倉敷市西阿知町西原978-3 TEL:086-466-3313 FAX:086-466-1806 E-mail:gon29@mld.ocn.ne.jp 携帯:090-2297-2243</p>	<p>お子さまに夢を、大人には安らぎをお届けしたい。</p> <p><b>だがり小町</b> 嫁菓子・棟上げ等 各種袋詰め 承ります 代表取締役 平野 隆弘(24期) 本店:倉敷市吉岡 TEL&amp;FAX (086)425-7702 リブ21店:総社市リブ21 TEL&amp;FAX (0866)93-7345</p>	<p><b>安原 孝 則</b>(24期) Tel. 086-462-1744</p>
<p>SYSTEM TIES 株式会社 システムタイズ 代表取締役社長 根木 克己 専務取締役 森藤 祐史(32期) 進学塾 タイズ</p>	<p>陽気な出逢いと、おてんば娘のコレクション“赤毛のアン大好き!”</p> <p><b>M&amp;M</b> 雑貨・洋服など取り揃えております。 井川 真由美(33期) 倉敷市西阿知町西原836-5 TEL:086-465-9564 ブログ:http://ameblo.jp/anne-gil</p>	<p>真言宗御室派 <b>日間山 法輪寺</b> 住職 田中 良全(33期) 倉敷市羽島468 TEL 086-422-5705</p>
<p><b>倉敷曾原屋</b> <b>あえのこと</b> Kurashiki Sobaraya Ae no Koto 第2・第4土曜日9時~15時営業 ☎090-7502-6177 倉敷市美和2丁目10-18 久保田邸【34期生久保田正彦】</p>	<p>本格派手作り弁当 <b>岡山さくら弁当</b> 田 隅 亮(44期) (086)462-7930 http://www.sakurabentou.com</p>	<p><b>Dites-le avec des fleurs</b> <b>nara</b> 倉敷市本町14-3 Tel &amp; Fax 086-441-1525</p>
<p>法人設立・譲渡・相続税の申告相談 <b>梶谷孝行税理士事務所</b> 税理士 梶谷 孝行(21期) 〒169-0074 東京都新宿区北新宿3-22-10 パイロットハウス北新宿236号 TEL 03-3364-2411 FAX 03-3364-2410</p>	<p><b>Melrose Ave.</b> 〒150-0044 渋谷区円山町25-7 PHONE/03-5458-5566 E-mail: melrose@aoros.ocn.ne.jp 寺 山 一 己(23期)</p>	<p>日本科学技術ジャーナリスト会議 会長 東京都市大学 特別教授 元NHK解説主幹 <b>室山 哲也</b>(23期) 〒190-0142 東京都あきる野市伊奈884-16 ☎042-588-4568(自) 080-1006-5931(携帯) ☒ muroyama.t@nifty.com</p>
<p>東京青陵会会長 <b>高橋 祥二</b>(28期) 〒250-0854 神奈川県小田原市飯岡227-1 TEL 090-7223-5835 E-mail:shoji.takahashi@nifty.com</p>	<p><b>河崎 孝夫</b>(30期) SOS BAR 〒106-0032 東京都港区六本木7-4-8 TKGビル203 TEL. 03-3408-6837 rallytk@aol.com</p>	<p>東京青陵会 事務局長 東京倉敷ふるさと会 副会長 株式会社 プロ家庭教師さいたま CEO <b>日岡 秀和</b>(30期) 〈会社〉〒331-0812 さいたま市北区宮原町2-51-40 TEL 048-654-0506 FAX 048-654-0569 E-mail:hioka@pt-saitama.com</p>

# 会員ニ点描

(令和4～5年/現役を含む/学年・肩書は当時/  
記事はすべて判明のみ)

**【受賞・受章】**スポGOMI甲子園の岡山県大会が令和4年10月、倉敷市内で開かれ、青陵「ゴミ拾いお兄さん」が2位に❖岡山県内にわずか数人という銅版画家岡村勇佑さん(48期)が同年11月、倉敷市文化連盟賞奨励賞を❖同年11月、岡山県文学選奨の発表があり、宮本(旧姓守安)加代子さん=8期・家庭科=が短歌部門の入選(最高賞)に❖溝手昌樹さん(28期)が同年10月、「高梁川流域の自然フォトコンテスト2022」で浅口市長賞を/同年11月、山陽新聞「読者の写真コンテスト」で佳作に/同年5月9月、「第13回まいられえ岡山」の写真コンテストで最優秀賞を❖元連島南中学校長馬場淳さん(4期)が同年1月、高齢者叙勲で瑞宝双光章を❖同年1月、第56回岡山県スポーツ協会の表彰者の発表があり、広瀬洋介先生(在職教員)が国体賞(陸上)を❖同年2月、叙位叙勲で元倉敷天城高校長弓削崇先生(元在職教員)が従五位を❖同年4月、高齢者叙勲で元新見高校長渡辺展章先生(4期)が瑞宝小綬章を❖同年4月、春の叙勲で元岡山県法人会連合会副会長岡荘一郎さん(10期)が旭日双光章を/元倉敷市助役松尾武司さん(7期)が瑞宝双光章を❖同年5月の第66回日本伝統工芸中国展で、磁器作家木村知子さん(40期)の作品が入選/作品展を同年6月、倉敷市内で開き約80点を展示しました❖同年6月、高齢者叙勲で元関西林木育種場長荒木武夫さん(5期)が瑞宝双光章を❖同年6月、倉敷市議会議員藤原薫子さん(44期)が議員在職15年以上で全国市議会議長会表彰を❖同年7月、高齢者叙勲で元電電公社中国電気通信資材配給局長岩城真さん(5期)が瑞宝双光章を❖児童文学者遠藤みえ(美枝)子さん=10期=が同年11月、『風さわぐ北のまちから』(俊成出版社)で小学館児童出版文化賞を。

**【就任】**山陽新聞社の中田秀哉さん(30期)が令和5年2月、系列の山陽印刷(株)社長に❖内田博文校長が同年5月、岡山県高校長協会副会長に。任期は1年。

**【当選・引退・辞職】**令和5年4月9日、岡山県議会議員選挙の投票が行われ渡辺英気さん(26期)=自民=が8期目の当選をしました/山田総一郎さん(24期)=公明=は7期務め引退しました❖倉敷市議会議員の仙田貴孝さん(28期)=公明、1期目=が同年5月、病気により辞職願を提出、辞職しました。

**【早鳥町の選挙】**令和5年7月、町長・町議補欠選挙が行われ、町長選挙は3選を目指した現職の中川真寿男さん(24期)は惜敗、町議補欠選挙は元職の細田貴道さん(31期)=本部同窓会副会長=が通算3期目の当選を果たしました。

**【優勝・入賞】**第42回岡山県高校秋季将棋大会が令和4年10月、岡山市内で開かれ、女子A組で長森朱音(あかね)さん=1年生=が2位、B組で守谷拓杜さん(1年生)が3位になりました/長森さんは同年12月に岡山市内で開かれた中国地区大会に出場、8位に入りました/第42回岡山県高校将棋新人大会が同年11月、岡山市内で開かれ、女子A組は長森朱音さん(1年生)が優勝、濱田一花(いちか)さん=同=が3位、B組は小黒多聞さん(同)が優勝しました❖同5年1月、第55回新春かるた会が児島で開かれ、D組で馬場湊さん(1年生)と白神秀晃さん(同)が、いずれも優勝しました❖同年5月、第53回岡山県高校将棋大会が岡山市内で開かれ、男子団体B組で青陵Bが優勝、同Dが2位、女子団体は出場1チームで青陵が優勝、8月の全国大会へ出場しました/男子個人B組で林田篤也さん(2年生)が2位になりました❖岡山県高校水泳競技大会が同年5月、児島で開かれ小鍛治慧奎(えいけい)さん=1年生=が100℃平泳ぎで優勝、200℃同で2位に/橋高舞斗さん(3年生)が200℃背泳ぎで優勝、100℃同で3位に入りました❖第62回岡山県高校総体が同年6月、県内で開かれ剣道団体で2位に❖同年8月に鳥取市で開かれた陸上中国選手権の男子400℃で檀上亜里さん(立命館大)=73期=が優勝、同年6月の陸上岡山県選手権では200℃で3位でした❖岡山県高校新人水泳大会が同年8月、倉敷市で開かれ小鍛治慧奎さん(1年生)が100℃平泳ぎで優勝、200℃同で3位に❖岡山県高校新人陸上大会が同年9月、津山市で開かれ男子110℃障害で吉永捷悟さん(2年生)が2位、400℃障害で3位になりました。

**【そうじゃ吉備路マラソン】**令和5年2月26日に開かれ、陸上競技部の

中塚遥紀(はるき)さん=3年生=が10℃。一般男子Cの部で13位、同山口功平さん(2年生)がハーフ一般男子Cの部で42位に入りました。

**【講演】**福岡女学院大学名誉教授難波征男(ゆきお)さん(15期)が令和5年8月26日、備前市で熊沢蕃山について。

**【展覧会】**チャリティーの倉敷現代工芸秀作展が令和4年10月に市内のギャラリーで開かれ、岡本篤(13期)、川上(旧姓岡本)節子=18期、岡本研作(26期)、武内立爾(29期)、岡本和明(36期)、岡本和敏(44期)、岡本達弥(44期)=以上陶芸、佐藤(旧姓守屋)史男=19期・木彫=の皆さんが出品協力しました❖企画展・作家たちの「倉敷を描く」展覧会が同年10月、ギャラリー・メリーノで開かれ、福島隆壽(元在職教員)、渡辺暉夫(10期)、木口敬三(賢太郎)=11期、清水(旧姓三宅)繁子=25期=の4人の方が1点ずつ出品しました❖第48回郷土作家遺作展が同年11月に倉敷市立美術館で開かれ、現代アートの小田(旧姓宗田)宏子さん(9期)の作品が展示されました❖元在職教員福島隆壽先生が同年12月、岡山高島屋で油絵展を。約30点を展示しました❖天神窯岡本篤さん(13期)の傘寿記念展が同5年6月、天満屋岡山店で開かれ、新作約80点を展示しました❖銅版画家岡村勇佑さん(48期)が同年9月、天満屋倉敷店で「版画とドローイング」展を。新作38点を展示しました。

**【コンサート】**ピアニスト松本和将さん(49期)が令和5年9月2日、ルネスホールでシリーズ「世界音楽遺産」と題して。ピアノ協奏曲第2番(ラフマニノフ)など6曲を演奏しました❖妹尾美穂子さん(31期)主宰のコーラスグループ「ラ・ヴォーチェ」が同年11月17、18日に結成25周年記念コンサートを西川アイブラザで開きました。

**【映画製作】**倉敷を舞台にした映画の製作実行委員会の委員長に岡荘一郎さん(10期)=倉敷まちづくり(株)社長=が就任、令和6年の完成を目指しています。映画は『蔵のある街』(平松恵美子監督)で、同5年夏から準備に入りました。

**【寄贈】**ピアニスト橋本里香さん(53期)が令和4年11月、地元の文化施設「マービーふれあいセンター」へグランドピアノ1台を。西日本豪雨で自宅が浸水しピアノを失った際に知人から譲り受けたもので、寄贈は知人との連名です/自営業楠戸俊宣さん(21期)は同5年6月、岡山県に新生児用セーター、カーディガンなど20着を。倉敷産綿花を使っています。

**【出版】**元徳島大学医学部教授で医療経済学の専門家久繁哲徳(あきのり)さん=19期=が令和3年12月、『図解医療の世界史』(丸善出版)=写真=を。

**【テレビ出演】**現代美術作家・高橋秀さん(玉島在住)の業績を紹介する特集番組「いのちを描くアーティスト」が令和5年2月18日にOHKテレビで放映され、高橋さんのアトリエスタッフで、銅版画家岡村勇佑さん(48期)が出演しました。岡村さんは高橋さんの第2回秀桜基金留学賞を受賞、1年間ローマに滞在し腕を磨きました。

**【大山名人追想】**倉敷市大山名人記念館長北村実さん(3期)が令和5年3月10日付の山陽新聞紙上で名人生誕100年にちなみ。

**【計報】**本部同窓会理事小山博通さん(10期)が令和4年6月18日に❖同前副会長井上善弘さん(21期)が同年12月3日に❖元在職教員中山薫先生が同5年2月20日に❖本部同窓会理事野山義兼さん(7期)が同年4月28日に❖元在職教員赤木勉先生が同年8月28日に。89歳でした。

**【同窓会入会式】**令和5年2月28日、今春の74期卒業生313人が入会しました。卒業生は累計3万5576人となりました。岡田本部同窓会長のメッセージを内田校長が代読、本部同窓会から全員に入会記念品の卒業証書ホルダーが贈られました。

**【お詫び】**同窓会だより『青陵』第54号の表紙に寄せてもらった銅版画家岡村勇佑さん(48期)の作品で、編集上の配色ミスがありました。作品の背景のクリーム色を、手違いにより空色で印刷しました。作者に深くお詫びします。(編集室)

**【お断り】**第54号別刷り2ページの本文に「次号から昭和50年代の『青陵新聞』の内容紹介を連載する」旨、告知しましたが、紙面の都合で第56号以降とします。(編集室)